

# 大学自己評価部会だより

第57号 (平成30年5月)

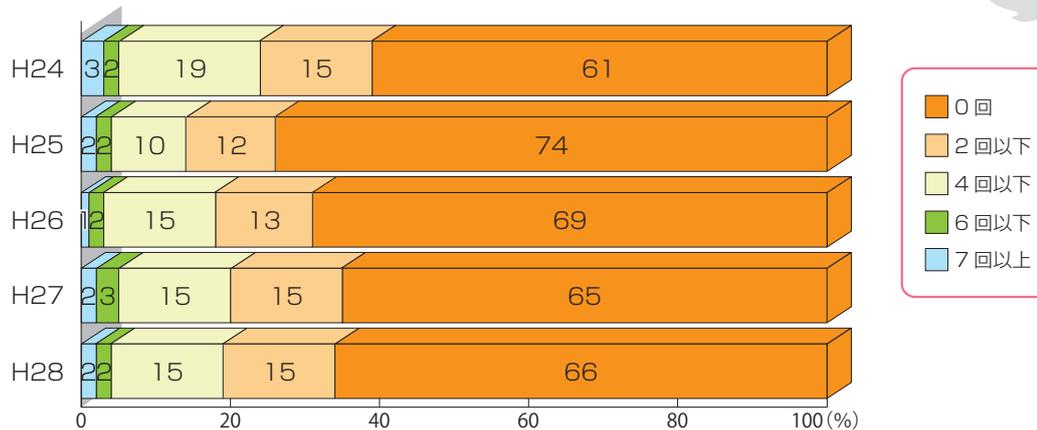
## アンケートの調査結果を報告します

歯学科、口腔保健学科の学生を対象としたアンケートから、歯学科の助言教員の利用度、全学の学習相談や助言、奨学制度、サークル活動の満足度について調査しました。

### ① 歯学科の助言教員制度

学生の相談窓口には、なんでも相談室、学生相談室の他に、助言教員制度があります。歯学科では、平成28年度に助言教員制度を「利用した」と回答した学生は34%でした。

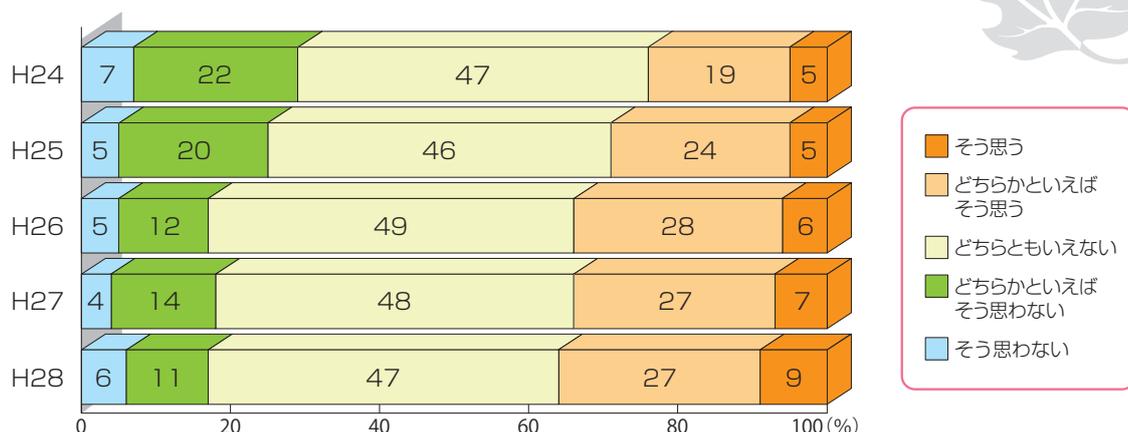
助言教員制度を何回利用しましたか (歯学科)



### ② 学生相談や助言に対する満足度

全学的な学習相談や助言について、徐々に満足度の改善が見られています。

総合的に判断して、本学の学習相談や助言などは適切に行われていますか

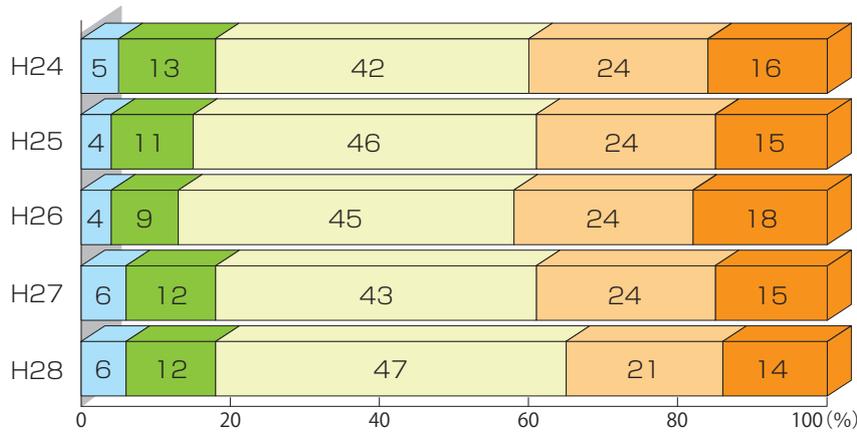




### ③ 奨学制度について

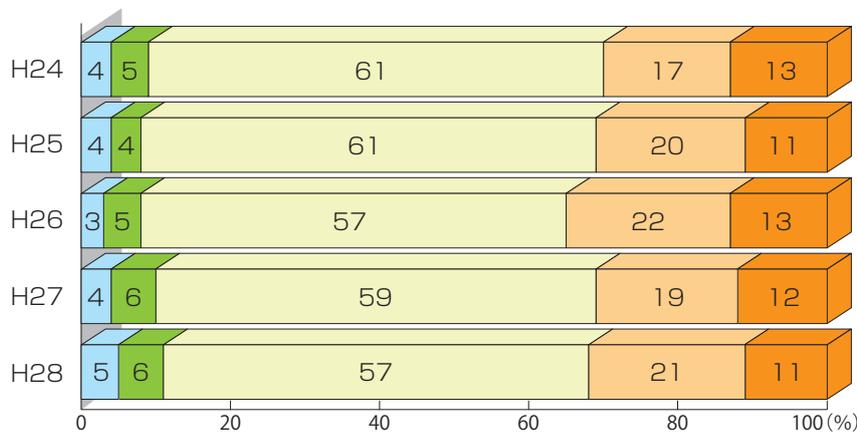
平成28年度、奨学制度を「知らない」学生は全学で12%でした。また、充実していると「思わない」または「どちらかといえば思わない」学生は、11%でした。奨学金を必要とする学生に支援が届くように周知に努めなくてははいけません。

本学で取り扱っている奨学制度を知っていますか



- よく知っている
- 一部知っている
- 聞いたことがある
- 全く知らない
- 知る必要がない

奨学制度は充実していると思いますか

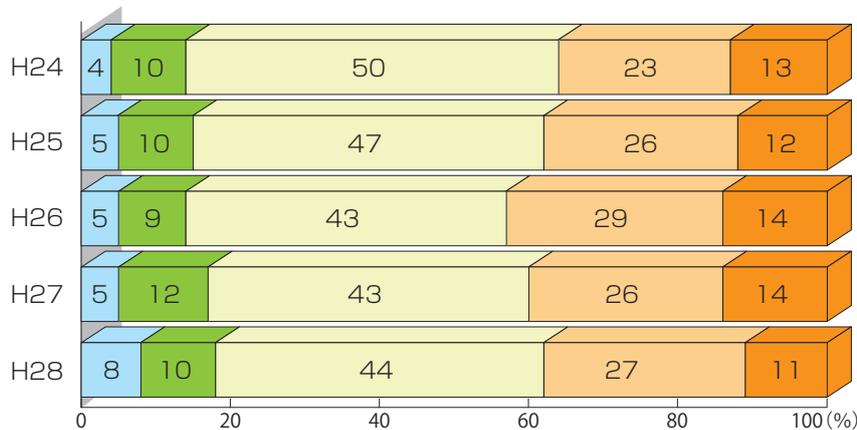


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

### ④ サークル活動への満足度

本学では在学生の約9割が1つ以上のサークルに所属しています。最も人数の多いサークルは「むしばくらぶ」で、地域でボランティア活動等を行っています。サークル活動に満足している学生は8割以上となっています。

サークル活動・部活に満足していますか



- 大変満足している
- かなり満足している
- まあ満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない



# 大学自己評価部会だより

第58号 (平成30年8月)

## 九州歯科大学憲章(抜粋) 2.九州歯科大学の基本理念

九州歯科大学の基本理念を以下のとおり定め、九州歯科大学がどのような人材の養成、社会貢献、および研究活動を展開するのかをここに明らかにします。

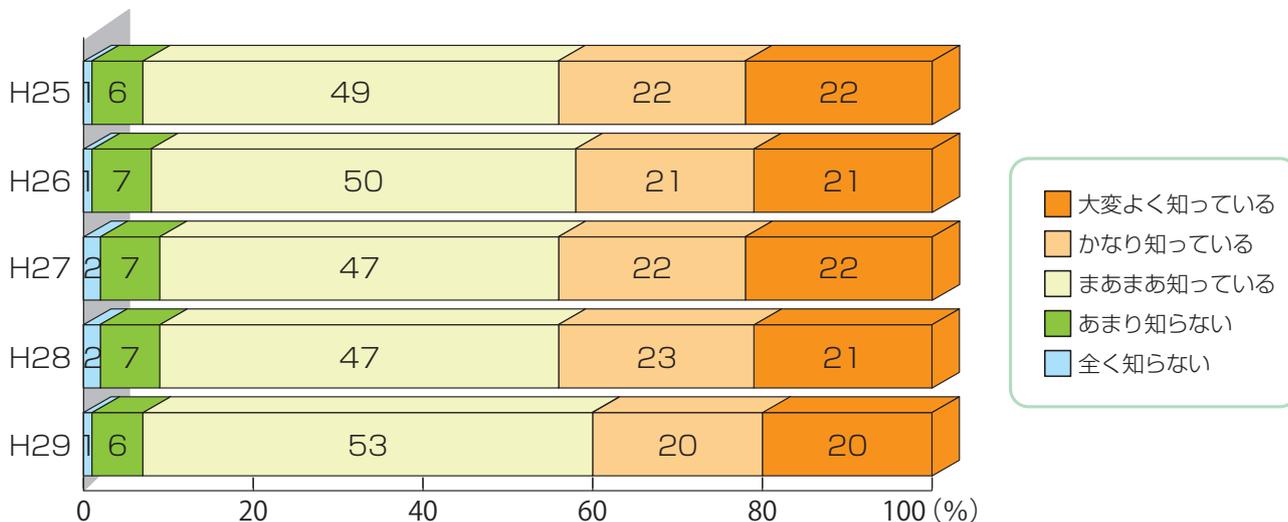
- ・ 高度な専門性を持った歯科医療人の育成
- ・ 地域医療の中核的役割を果たす
- ・ 歯科医学を支える研究の推進

## アンケート調査結果を報告します

学部学生を対象とした大学理念の周知度、講義、実習および大学教育への満足度を平成25年度～平成29年度で比較しました。

### ① 大学の基本理念の周知度

九州歯科大学の基本理念についての周知度は、9割以上の学生がある程度以上知っている状態で、あまり変化がみられません。今後は(あまり知らないおよび全く知らない)学生の割合をさらに減らしていく必要があります。

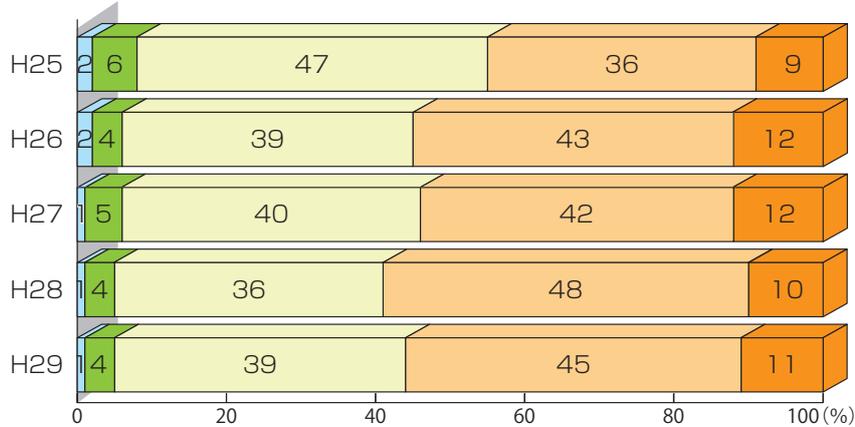




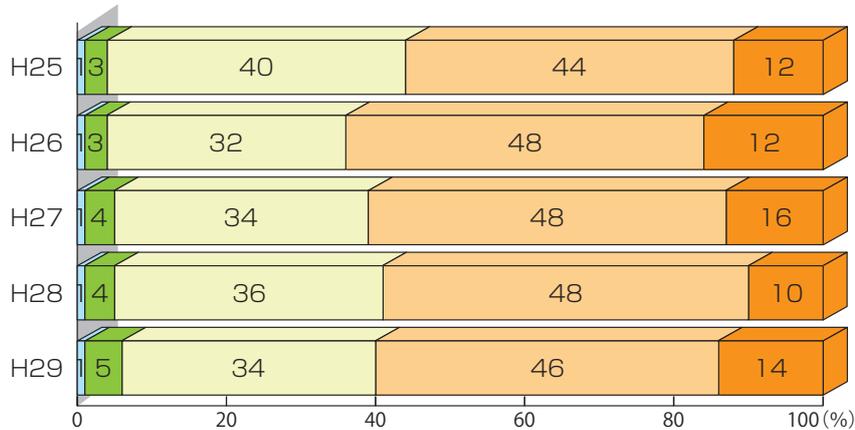
## ② 講義、実習の満足度

平成29年度は、ほぼ例年と同様の傾向を示しています。講義の満足度では(高いおよび少し高い)の割合は50%以上となっています。実習の満足度では(高い割合および少し高い)の割合は60%近くあります。今度とも講義および実習の満足度が増加するように改善の努力を続ける必要があります。

講義の満足度

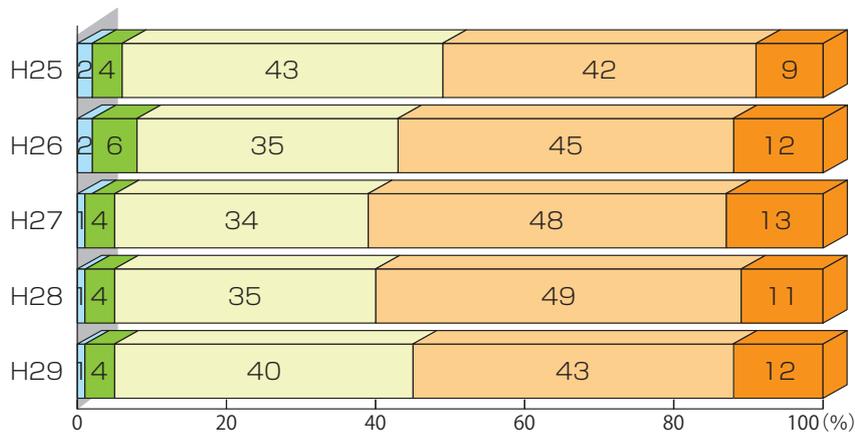


実習の満足度



## ③ 大学教育への満足度

大学教育への満足度について平成29年度は、28年度および27年度に比べると(少し高い)の割合の減少がみられましたが、(少し低いおよび低い)の割合は変化がありません。大学教育の満足度が増加するように教育改善の努力を続けていかなければなりません。



# 大学自己評価部会だより

第59号 (平成30年9月)

## ■教育研究目標

九州歯科大学は、基本理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行います。

- (1) プロフェッションとしての人間性、豊かな教養、専門知識および技能の備わった歯科医療人を育成する。
- (2) 科学的情報を正しく解釈し、根拠に基づいた歯科保健医療活動が行える人材を育成する。
- (3) 全身の健康という視点に立ち、いかなる社会構造の変化にも対応できる歯科医療人を育成する。
- (4) 多職種と連携し、歯科保健医療を通じて地域社会に貢献することができる歯科医療人を育成する。
- (5) 国際連携交流活動を強化し、国際的な視野に立って歯科保健医療活動が行える人材の育成を推進する。
- (6) 学際領域の学問分野と協働し、地域社会の発展に寄与する国際的な研究を展開する。

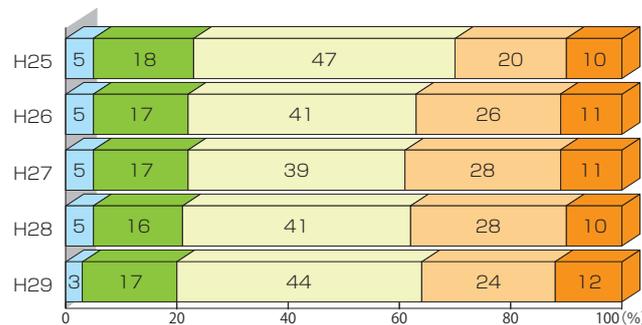
## アンケート調査結果を報告します

学部学生を対象とした図書館関連施設、IT関連施設、体育関連施設等の満足度を平成25～29年度の各年度で比較しました。

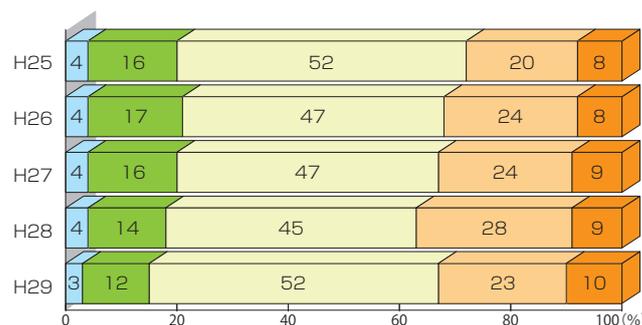
### ① 図書館関連の満足度

図書館の図書の満足度について、平成28年度から平成29年度にかけて、(大変満足している、かなり満足している)の割合の減少が認められました。今後も学習環境および図書の満足度が上昇していくように、改善を継続していかなくてはなりません。

図書館での  
学習環境の  
満足度



図書の  
満足度



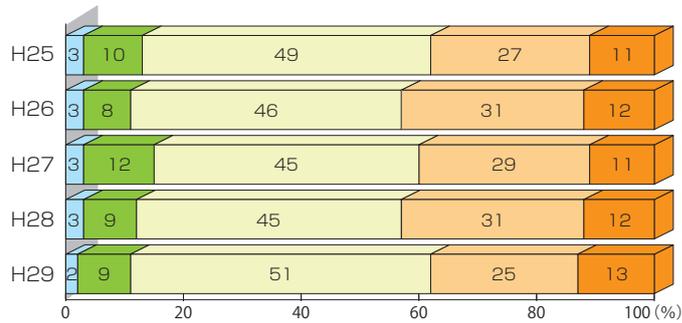
■ 大変満足している  
■ かなり満足している  
■ まあ満足している  
■ あまり満足していない  
■ 全く満足していない



## ② IT関連施設等の満足度

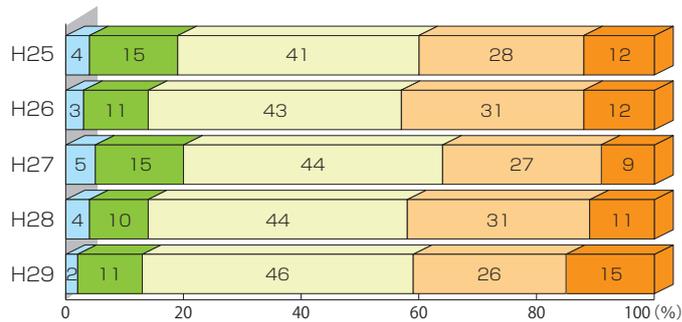
平成25年度から平成29年度にかけて、演習室およびパソコンの満足度について、(大変満足している、およびかなり満足している)の割合が3割前後を維持しています。

コンピューター  
演習室の  
満足度



- 大変満足している
- かなり満足している
- まあ満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

パソコンの  
満足度

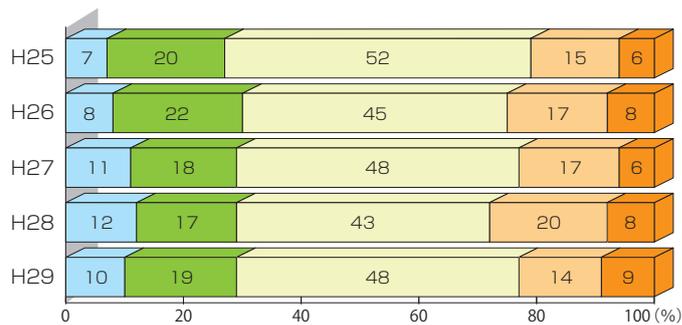


## ③ 体育関連施設の満足度

平成25年度から平成29年度にかけて、体育館およびグラウンドの満足度について、(大変満足している、およびかなり満足している)の割合が2割前後を推移しています。

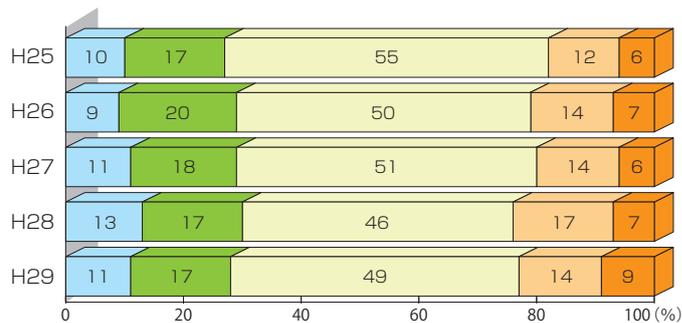


体育館の  
満足度



- 大変満足している
- かなり満足している
- まあ満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

グラウンドの  
満足度



# 大学自己評価部会だより

第60号 (平成30年11月)

## ■歯学科カリキュラムポリシー

1. 全人的歯科医療人として具備すべき、倫理観やコミュニケーション能力を涵養するために、人文科学系科目・社会科学系科目を充実させる。
2. 歯科医療の高度な専門知識・技能を養成するために、専門基礎分野および専門臨床分野科目を充実させる。
3. 科学的根拠に基づいた歯科医療を実践するために、ロジカルおよびクリティカルシンキングを重視した科目を充実させる。
4. 全身の健康増進の視点に立った歯科医療を実践するために、関連医学科目を充実させる。
5. 多職種連携の重要性を理解するために、学外病院施設での臨床実習科目を充実させる。
6. 医療の国際化に対応できる歯科医療人を養成するために、実践的な外国語教育科目を充実させる。
7. 問題解決能力および研究能力を醸成するために、テュートリアル教育・研究室配属などの科目を充実させる。

## アンケート調査結果を報告します

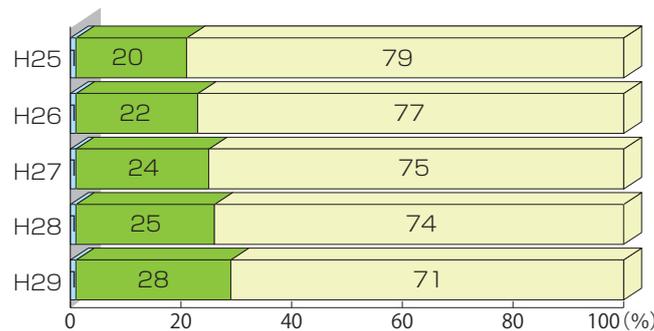
心身の健康に関する相談室の認知度、自主学習の場所と時間に関する状況および生活面でのニーズの把握の満足度について、平成25年度～平成29年度の5年間を比較しました。

### ① 健康に関する相談室の認知度

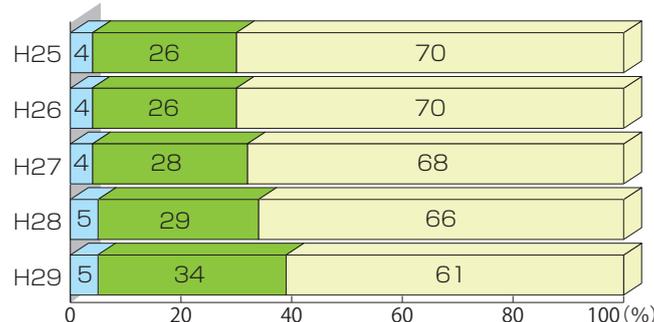
健康管理室と学生相談室(旧カウンセリング・ルーム)の認知度は高い状況です。必要に応じて学生が両施設を利用できるように、今後も現状の認知度を維持していければと思います。平成29年度の利用状況は、健康管理室が延べ478人の利用、学生相談室が延べ104件の相談件数でした。



本学に  
健康管理室があるのを知っていますか。



本学に学生相談室  
(カウンセリング・ルーム)があるのを知っていますか。



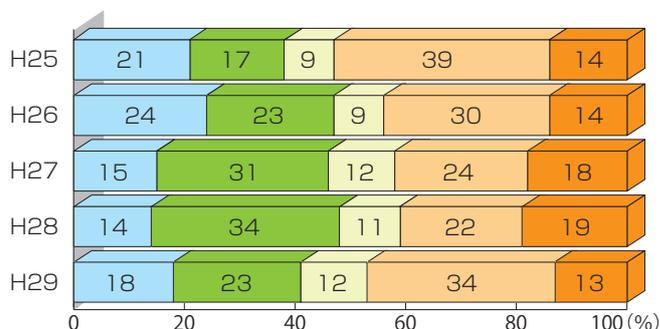
■ 知っている  
■ 何となく知っている  
■ 知らない

## ② 自主学習の場所と時間

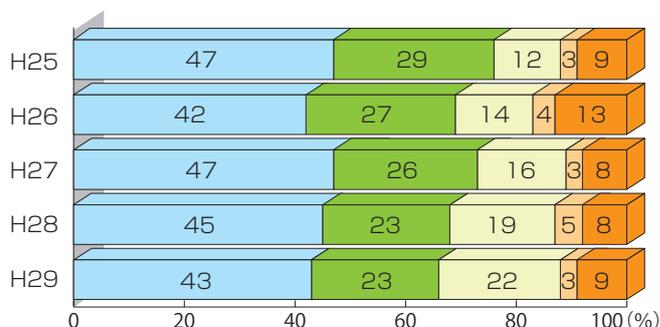
休日の自主学習場所として、平成29年度では自宅の割合が増加しました。大学の図書館や自習室も多くの学生に利用されているようです。1日の自主学習時間は、年による変動はあまり見られませんが、平成27年度から1時間未満の割合は少しずつですが減少傾向です。



土日・祝祭日など、  
大学が休みの時の  
自主学習は主に  
どこを利用しますか。



試験勉強を除く  
あなたの自主学習  
時間は、1日平均  
何時間ですか。

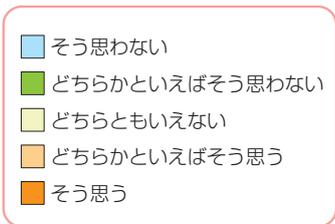
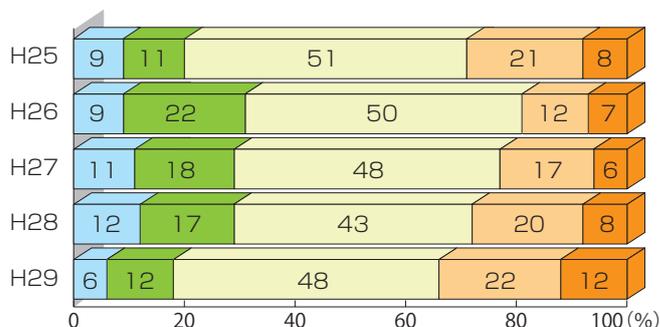


## ③ 生活面でのニーズの把握に関する満足度

平成26年度以降、生活面でのニーズの把握に関する満足度は改善傾向です。しかし、「どちらともいえない」の割合は約5割です。今後も生活面でのニーズの把握と改善(改善点の学生への案内方法も含めて)に努める必要があります。



本学として、  
生活面での皆さんの  
ニーズを適切に把握し  
ていると思いますか。



# 大学自己評価部会だより

第61号 (平成31年1月)

## カリキュラム・ポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考え方を示したものです。

- (1) 高度の専門性を習得することを目的に、所属分野の講義・演習を実施させる
- (2) 包括的な生命科学および臨床の知識と技術を習得することを目的に、専門領域の枠を超えて講義・演習を実施させる
- (3) 生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論に関する講義・演習を実施させる
- (4) 歯科臨床および研究に応用することを目的に、医工学と連携した講義・演習を実施させる
- (5) 英語を用いた講義・演習を充実させる
- (6) 国際性の向上のため、外国語によるプレゼンテーションや論文作成能力を養成する講義・演習を実施させる
- (7) 学内外を問わず高度な研究能力を有する専門家を招聘し、講義・演習を充実させる
- (8) 海外の大学への短期間研究留学を経験するための実習を充実させる

## アンケート調査結果を報告します

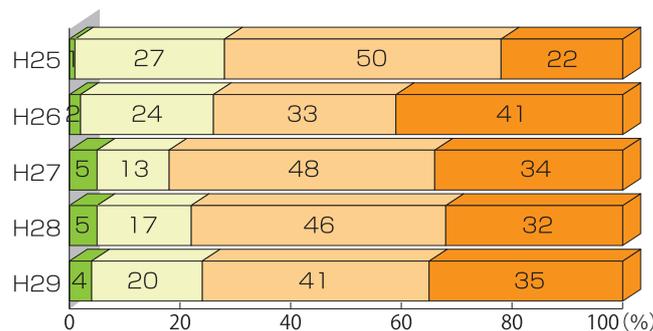
大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成25～29年度の5年間を比較しました。

### ① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

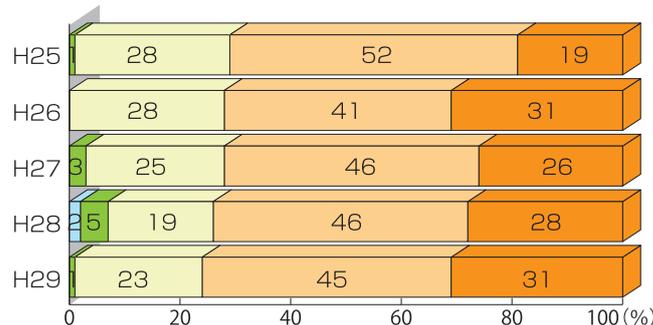
大学院では毎年講義内容の見直しを行い講義・実習の充実を図っています。80%近い学生が「高い」「少し高い」満足度を感じています。選択科目では他大学との連携科目も好評でした。



主科目に  
対する  
満足度



副科目・選択科目に  
対する  
満足度

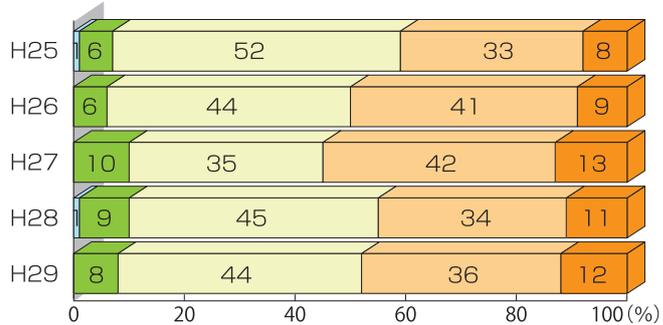




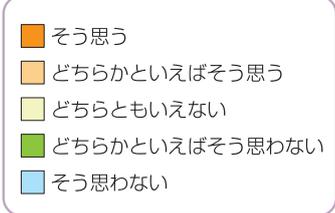
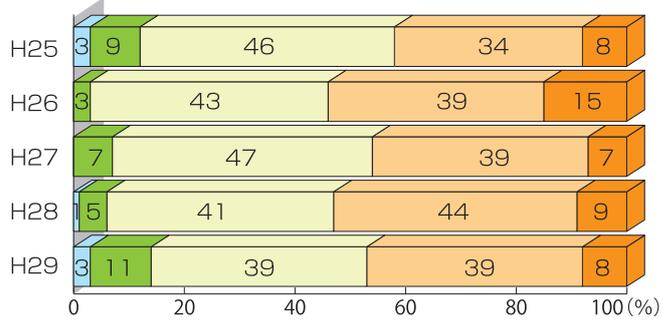
## ② 授業要綱や学習相談などについて

大学院生が大学に求めるものは個々に異なりますが、ニーズを理解されていないと感じる学生には、大学院のカリキュラム・ポリシーを周知するとともに意見を求める工夫が大切です。

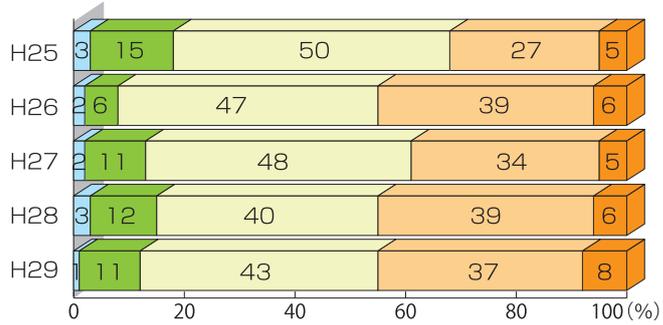
授業要綱は判り易いですか



学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



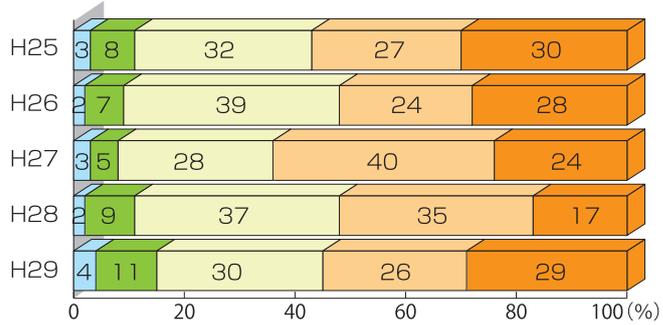
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



## ③ 研究指導に対する満足度

研究指導に対して満足度が高い学生の割合は昨年より増加しましたが、満足度の低い学生の割合が少ないながらも漸増しました。指導教員の先生方はその存在に留意して大学院生との密なコミュニケーションを心がけてください。

現在の研究指導に満足していますか



# 大学自己評価部会だより

第62号 (平成31年3月)

## アンケート調査結果を報告します

平成25年～28年度の口腔保健学科1年生および平成24年～28年度の歯学科1年生において、各学科のアドミッションポリシーの周知度について比較しました。

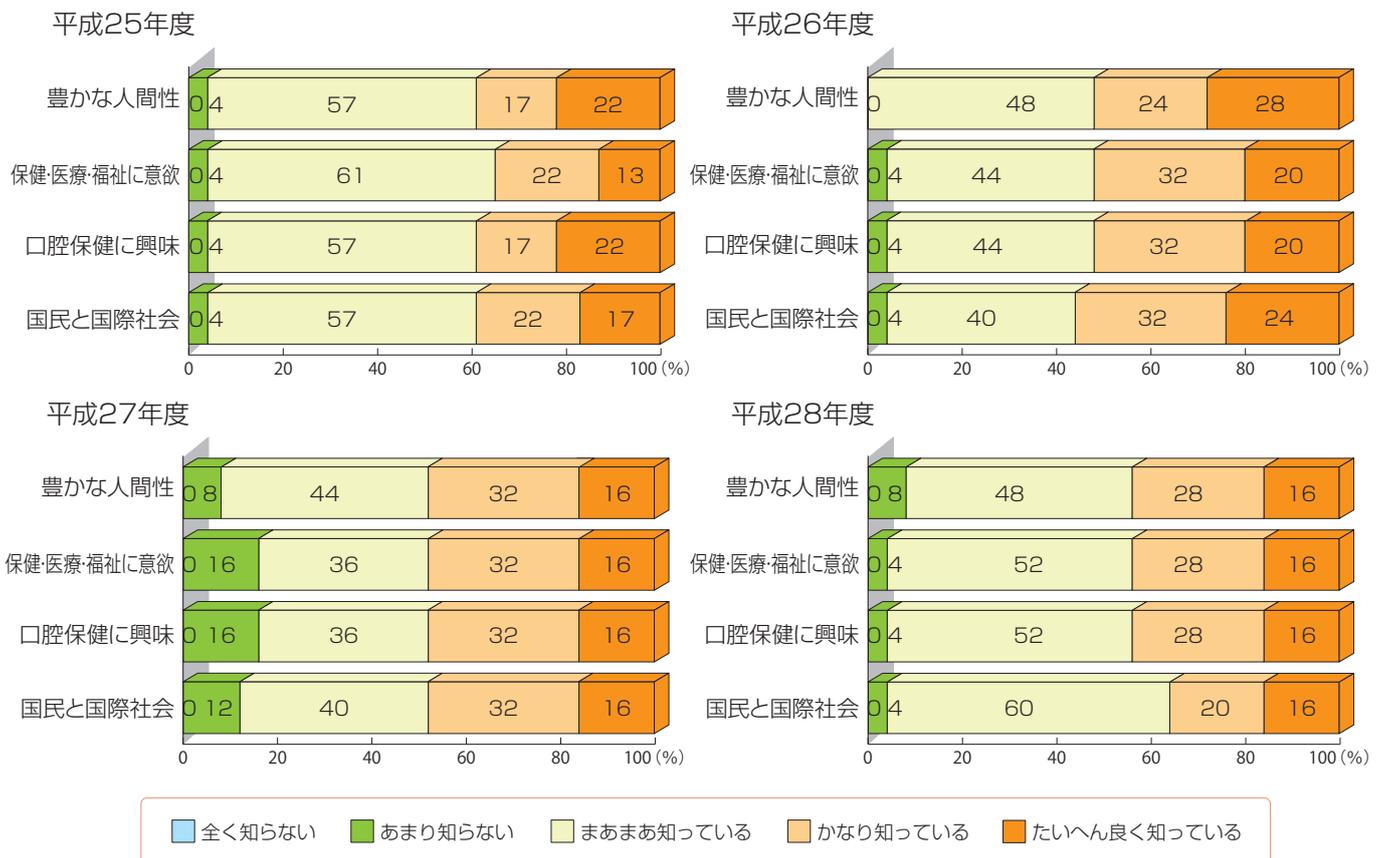
### 口腔保健学科のアドミッションポリシー（求める学生像）

- ・ 口腔保健学を中心とする学士課程教育を受けるために必要な幅広い基礎学力を備えている人
- ・ 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
- ・ 論理的思考能力および問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的にチャレンジする人
- ・ 口腔保健および保健医療福祉に強い興味を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- ・ 歯科衛生士として地域住民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

### 口腔保健学科におけるアドミッションポリシー周知度

各項目の周知度は高い状態を保っています。平成28年度の回答では全ての項目で「あまり知らない」「全く知らない」と回答した人はほとんどいませんでした。ただし、「かなり知っている」と回答した人が減少してしまいました。周知度の維持・向上を期待します。

なお、本調査は上記ポリシーが定められる前のポリシーで実施されました。



# 歯学科のアドミッションポリシー（求める学生像）

- ・ 歯科医学および歯科医療の修得に必要な幅広い基礎学力を備えている人
- ・ 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
- ・ 論理的思考能力および問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
- ・ 歯科医学および歯科医療について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- ・ 歯科医師として地域住民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

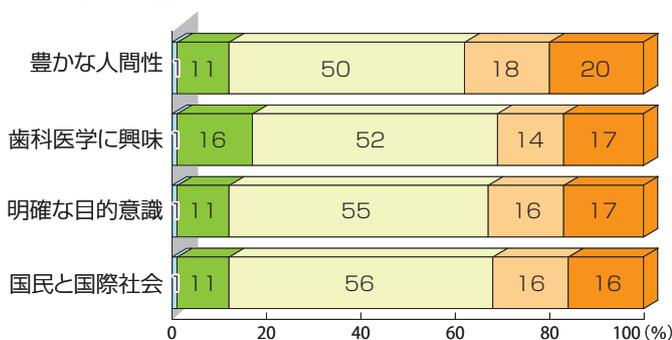
## 歯学科におけるアドミッションポリシー周知度

平成28年度は、前年度（過去5年間で最も良い結果であった平成27年度）と比べると、やや周知度の低下が認められました。また、口腔保健学科1年生の周知度には及びません。さらなる周知度の上昇を望みます。

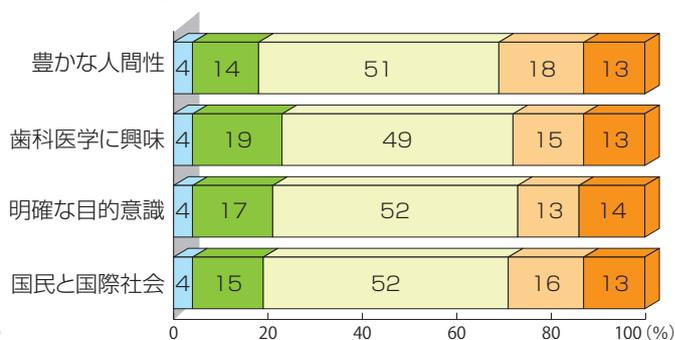
なお、本調査は上記ポリシーが定められる前のポリシーで実施されました。



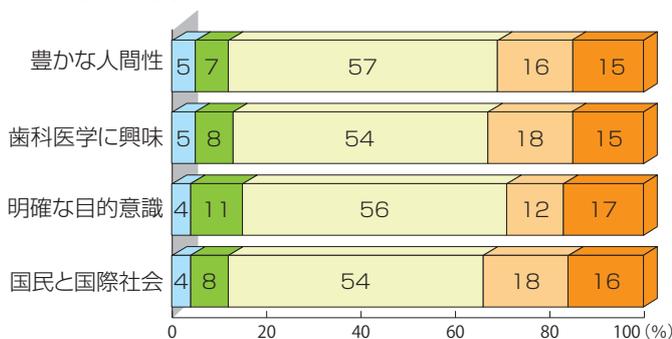
平成24年度



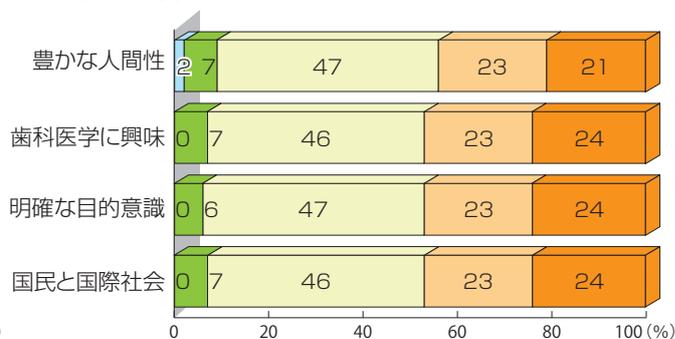
平成25年度



平成26年度



平成27年度



平成28年度

